

特 59

917

繪本  
慶安文平記



No 16354





性質 武勇  
好を 猛  
故に 富士太  
郎を  
耳那寺  
なる清



抑由井正雪の幼名を富士太郎と  
呼ひ紺屋治郎右衛門妻が神

誓ひて生じ  
子あり

病ありし  
富士太  
郎

枕元近く  
招き系圖  
と六筋三略  
の巻とを  
譲り終ま

なる  
なり  
まはる



光寺へ手習 学問  
修行のとき  
頼むるが  
以年冬父のふと重

故に和  
尚

遺もあれ  
父の



十七年  
 先河内國壺井八幡宮へ奉詣  
 ことと永年の養育を謝し  
 末太郎国光の陣刀を賜り  
 出たり

小治の  
 荒  
 なる  
 立寄  
 一夜の宿  
 をたの  
 し  
 女未  
 たりて



一日も立るゝ法第よせ  
 んと云しが虚病ふて啞  
 とるゝ又狂氣と  
 り親族閑ヶ  
 原清平へ預  
 ける我大望  
 有は五年間  
 啞とるゝ居と  
 武者修行と  
 して諸國を  
 回り

夫より大和伊賀  
 と経て加賀の四  
 大聖寺に至りて  
 山路を七八里も  
 奥へ入夜も  
 深げ故  
 向ふ  
 方の  
 火の光  
 付て見ハ



入給へと受引たる  
正雪天子悦ひ肝戸  
は入りしよまのり  
つじと何う  
取出す  
を以て

方々見れ  
赤見を火子焙り  
刀物切り  
打寄て  
喰ふ切り  
山賊



なまらと立出てまよ  
向ひ  
宿の礼をの  
某も空腹  
少賜  
とを  
老女呈せしと  
赤思の足を出  
す之と食  
味甚



柴田九橋増上寺の僧郭然等と日々  
 國家の轉覆を計るの他

事るりりり慶安元

年春忠弥ハ用事ありて内櫻田

辺を通ると寺城と見入らん

爰いよも攻口より塹の深きを

投石して探

りたる打

柄松平伊豆

守此体を見不審の

忠弥のて聞

れし故狼  
 人ありと  
 此谷申し  
 て其場  
 みて面  
 會しと  
 とて行  
 過し九  
 橋と



正雪と号し門人四千余も及ぶ

捕不傳の

元入込後醍醐

天皇の

辰

筆

殺せし

名刀

を手に

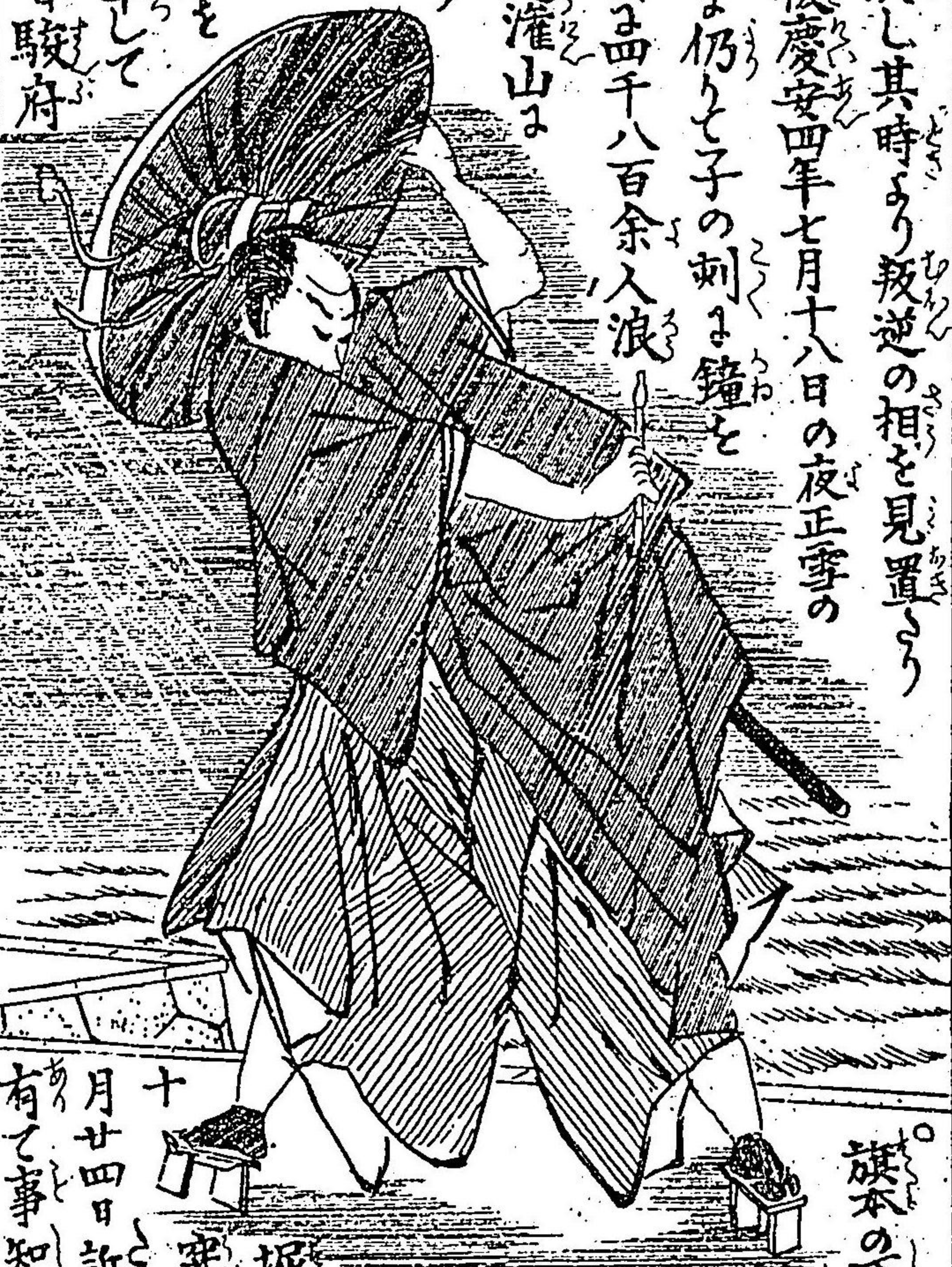
傳の家

をにつき張孔堂由井



慶安

呼疾し其時より叛逆の相を見置し  
其後慶安四年七月十八日の夜正雪の  
下知ま仍りと子の刻は鐘と  
相國は四千八百余人浪  
人道灌山は  
集りて正  
雪は  
千人を  
引率して  
廿日駿府



旗本の下屋敷を敷  
は圍り借を敷  
堀を穿ち  
十月廿四日訴人  
有て事知れる

へ赴き九橋  
江戸の大將  
と定め夫々  
手配し諸人  
をまけはし  
御城の方へ  
箭二筋を放  
ち千秋楽を  
祝し各立ち  
斯く忠弥の邸を本郷  
弓町大岡源左門といふ



取手末  
四十余人  
が邸を取  
巻と皆々  
投殺し十  
三人に及ぶ  
此間毒を連  
判状を火鉢  
の中へ投込  
忠弥の切ふくま  
及ひなるといふ





久能山 久能山  
 其反し 其反し  
 天文と考へ大望 天文と考へ大望  
 露頭せしむるごと 露頭せしむるごと  
 云し時城代より来り 云し時城代より来り  
 しるも早是迄あり しろも早是迄あり  
 と奥の間まで と奥の間まで  
 十人切腹を 十人切腹を  
 及ふ目出 及ふ目出

長安



初正雪 初正雪  
 七月廿 七月廿  
 四日府中 四日府中  
 辛酉廿六日 辛酉廿六日  
 子刻 子刻  
 九十六 九十六  
 一時は焼立て城番 一時は焼立て城番  
 の武器を奪取 の武器を奪取

長安

|    |        |    |       |    |        |    |        |    |         |    |       |    |        |      |       |
|----|--------|----|-------|----|--------|----|--------|----|---------|----|-------|----|--------|------|-------|
| 木画 | 忠臣藏    | 木画 | 楠公記   | 木画 | 天草軍記   | 木画 | 宮本武勇傳  | 木画 | 水戸黃門一代記 | 木画 | 真書太閣記 | 木画 | 天一坊傳記  | 画本目錄 |       |
| 木画 | 岩見武勇傳  | 木画 | 源平盛衰記 | 木画 | 大久保一代記 | 木画 | 大岡名譽政談 | 木画 | 里見八犬傳   | 木画 | 慶安太平記 | 木画 | 鹿兒嶋太平記 | 引画   | 英語獨替古 |
| 北  | 弥二郎膝栗毛 | 本繪 | 西洋手品  | 木画 | 辨慶一代記  | 木画 | 天神一代記  | 木画 | 荒木武勇傳   | 木画 | 近世太平記 | 木画 | 德川十五代記 | 豆画   | 本種々有舛 |



賣

中

中村浅吉

西京富小路三条下

大阪心斎橋唐物町

茶 岡本和助

捌

名古屋本町八丁目

扇 岩田由藏

所

西京寺町五条

治

宮沢治助